

軍事機密

回傳第六

飛行場内於先通信網、整備要領

昭和十七年十二月一日  
第五飛行師團司令部



1315

飛行場内於ケル指揮及情報用通信網ヲ整備シ且之が保安  
遺憾ナラシム

小數聚一防空部隊間及防空部隊相互間一直通電事網  
ヲ構成ス

飛行場附近、主要電信電話線、島々ノ地主ニ埋設スル  
カ若シテハ壕内ニ敷設シ敵、爆撃ニ依ニ切断ヲ防止ス

通信線切断の場合、於ケル副通信ヲ準備ス之が為、主要連  
絡地主間三千旗若シテハ懷中電燈ニ依ル規約信號、審視、自  
動車(自轉車)傳令等ヲ準備ス

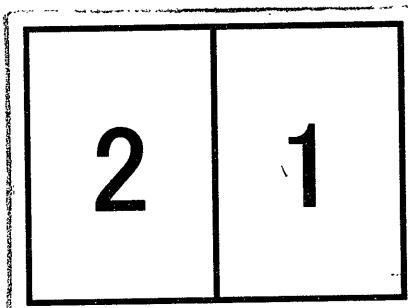
尚為之得之限リ重要地點與間ニハ經路ヲ異ニスニ用ヒ  
繪ヲ新ニサセス

4. 通信所、機体ヲ以テノテ防護スルカ、或ハ空襲ニ鑑シ監視内  
移動得ハ如ク設備ニ常ニ通信ヲ杜絶セザム如ク防空施設ヲ  
完備ス

5. 空襲警報、傳達ハ軍事部空襲警報ナリス、飛行場附近ハ空襲  
警報作業中、現住民ニ促進ニ通達シ得ハ如ク其處置ス  
之が為ニサイン鐘、旗等成ハシ多ク又所ニ準備ニ警報スモノトス

トス

## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上ため
文書等名	飛行機燃料弾薬及人員防護 細部実施要領
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

重機密

袁

1319 1318

